

ヤマハニュース 6

YAMAHA NEWS No.156 1976 JUN

各地で活況

ヤマハ夏の陣 **どんと行こう大作戦**

同時進行

ヤマハハッピーバイクセール



新発売 ヤマハトレールDT125/DT90



みなづき
水無月の京・大阪

四季の微妙な味わいがことさら豊かに感じとれる関西。京都、奈良の古都には、昔ながらの庭園も多く、青もみじ、苔、石膚などが六月のつゆに濡れて、忘れかけた自然の美しさを保って訪れる人の心を慰めてくれるきょうこの頃です。写真は著名な寺院、西方寺(晋寺)の静かな境内。この風景は、まさに日本の情緒の基本でもありません。

反面、大阪商人の言葉もあるように、ビジネス面は活発そのもの、人の動きも、物の動きも活気に満ちあふれています。

まさに「静」と「動」のあざやかなコントラストが、みごとに調和しているのが京、大阪の生活です。こうした中にあるのは、「ヤマレがいまいちばん力を入れているのは」「ヤマハ夏の陣・どんと行こう大作戦」です。

「バイ・エプロン」を持った奥さまを一人でも多く、そしてバイクのある楽しい生活をさらに大きく広げていこうと、フレンド店のみなさま方と手をたずさえて躍進の日々をおくっています。

大阪支店・山本昇営業課長

★ 表紙のことば ★

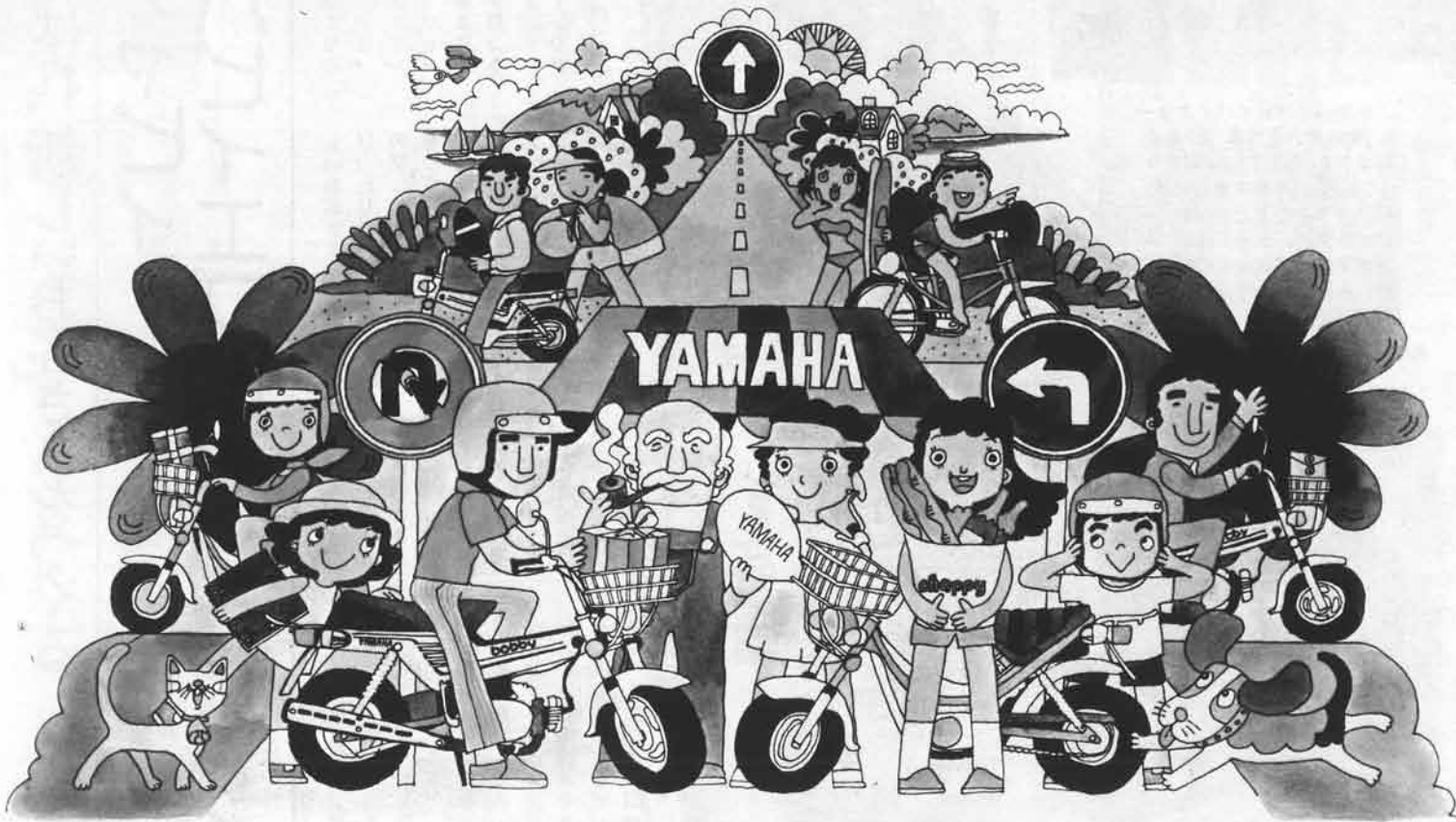
自然を身近かに感じて走る楽しさ、それがオフロードランの真ずい。木立を縫って走る林道を求めて、オンロードからオフロードへと楽しいツーリングコースを求めて出かけるお客さんも少なくありません。そうした新しい使い方を開拓して登場したDTシリーズは、オフロードモデルとしてもっとも長いキャリアをもつヤマハの自信作です。中でも

表紙の「DT125」は、もっともポピュラーなオフロードランナーとしてビギナーからベテランまで、幅広い需要層をお客さまとする最新型の商品です。都会から郊外へ、あるいは郊外から都会へ。オンロード、オフロードを問わずマルチユースの「DT125」を、高層住宅と砂利道の組合せで表現してみました。

ボビィ、チャピィのお客さまをふやす

ヤマハハッピーバイクセール

いま実施中 5月15日⇒8月15日



「ヤマハ・ハッピーバイクセール」がスタートしました。

いよいよ夏のバイクシーズンもたけなわ、この好機をとらえ、売れる時期に、さらに業績をのばすフレンド店のみなさまを、ヤマハがバックアップさせていただくもので、「春のヤマハまつり」につづくセールスキャンペーンの第二弾です。

お客さまの人気の高いチャピィ、ボビィを中心商品とし――

●ボビィ&チャピィ・ハッピーエプロン・プレゼント。

●奥さまサークルー奥さま紹介プラン。

●ボビィ・ステッカー配布作戦。

――を三本の柱に、展開されています。折
りから展開中の「ヤマハ夏の陣・どんと行
こう大作戦」とあわせ、夏の商戦を大いに
リードしてください。

◎お客さまに喜ばれ、新しいお客さまをつくる

ポビィ&チャビィ ハイエプロン・プロゼント

「ヤマハ・ハイバイクセール」の柱となるお客さま向けセールス・プロモーションは、「ポビィ&チャビィ・ハイエプロン・プロゼント」。八月十五日までの期間中に、ポビィまたはチャビィをお買い求めのお客さまに、写真のようなしやれたヤマハ特製エプロンをプレミアムとしてさし上げるものです。乗りやすさと、親しみやすいデザインで新

しいお客さまを開拓するポビィ、チャビィにぴったりのハイエプロンが、またお客さまの間に新しい話題をつくり、新しいお客さまをつくりだすでしょう。店頭をにぎやかに彩る各種ツール類も用意しました。お客さまの心をとらえるよう、有効にご活用ください。



「ヤマハ・ハイバイクセール」告知用のたれ幕(左)、B4全判ポスター(左下)、B4判チラシ(上)は、いずれも楽しい統一イラストでまとめ、特にポスター、チラシは、催事案内、店名などの刷込み余白スペースを設けてあります。

「ポビィ、チャビィでニューライフを」というお客さまにぴったりのハイエプロン。

ヤマハ夏の陣 どんと行こう大作戦

7月31日まで
展開中

夏の需要期をいち早くキャッチして5月1日からスタートした「どんと行こう大作戦」、全国各地で着実な展開をみせていますが、お店での進展はいかがですか？ 7月31日の終了まであと2ヵ月、どうぞご健闘ください。

◎ボビィ・デモカーで効果倍增

ボビィ・ステッカー配布作戦

実際にバイクを見て、さわって、乗っていただくことが、お客さまの心をいかにとらえるか、を「春のヤマハまつり・ヤマハフェスタ」で実感された方も多いことでしょう。ボビィに限らずチャビィでも、いかに手軽に乗れ、乗りやすいものであるかは「百のセールストーリーよりも一回の試乗」といえるでしょう。お店でも、ぜひボビィ・デモカーをご用意ください。

目につきやすいカラフルなバイク、清潔に磨かれたボビィがお店の雰囲気をも伝えます。現金価格やクレジットでの購入法もぜひ表示しておきたいもの。特に今回は、このデモカーをフルにご活用いた

だくために、ボビィ/チャビィ用特製展示台も用意いたしました。また、「ヤマハ・ハビィバイクセール」開催中のお店とボビィのPR用に「ボビィステッカー」と「ボビィ絵ハガキ」がセットされたノベルティもあります。

ステッカー配布作戦は、このノベルティを高校生の下校ルートや駅前など人の集まる場所で配布し知名度アップをはかるものですがこれもボビィ・デモカーを展示台に置いた「移動展示会」とすることで、単純なPRからより具体的な話題、商談も生まれてくること



ボビィステッカー、ボビィ絵ハガキの入ったノベルティ。お店の名前を記入して、人の集まる所での配布や駐車中の旧型バイクに貼るなど、効果的に配布ください。



◎奥さまの手で、より効果的な展開を

“奥さまサークル” “奥さま紹介プラン”

ボビィとチャビィを中心商品に展開される「ヤマハ・ハビィバイクセール」の効果も、確実に販売に結びつけるために、フレンド店奥さまもぜひご協力ください。

特に、女性のお客さまに、圧倒的人気のチャビィをさらに拡販していただくために「奥さまサークル」奥さま紹介プラン」をフレンド店奥さまの手でぜひどうぞ。

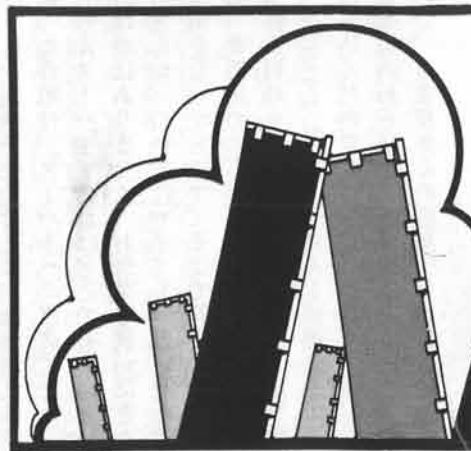
この「奥さま紹介プラン」は、フレンド店奥さま周辺のオビニオン・リーダー的なお客さまを通じて新しいお客さまをご紹介いただく紹介セールです。

ご紹介くださった方、紹介されて期間中の「ヤマハ原付免許教室」を受講された方にもハビィエプロンをプレゼントします。

当然、この期間の原付免許教室は、「奥さま紹介プラン」で来店された奥さまやお嬢さまを中心に開講し、あわせてお求めやすい「ヤマハらくらくクレジット」



紹介依頼状、紹介ハガキ、被紹介者あてパンフレットがセットになった「奥様紹介プラン」用ツール。紹介いただいた方へのフォローもお忘れなく。



大当り！セールスプラン実例集

天気の良い日はバイクに乗ろう——がつよく実感としてうけとめられるバイクシーズン。お店のみなさま方それぞれに張りきっておいでのごとでしよう。新しい販売戦略を考え、いろいろとアイデアをこらしてご商売の巾を広げているお店も数多いことと思えます。

そこで、編集部も各地を駆けめぐって、話題の販売活動をさぐってご紹介することにしました。今月と来月の二度に分けて連載の予定ですが、あなたのお店の成功例もぜひお聞かせいただきたいものです。その一は——

大手スーパーに出店

神奈川県大和市・加藤ヤマハトレールショップ



どうぞ

私の店のお客さまのために

「待ち」の商売から「積極的に打って出る」商売を考えて、地元の大和スーパーに出張販売を試みたのは神奈川県大和市深見の加藤ヤマハトレールショップさんです。

大和市は横浜から西へ15キロ、人口15万の新興都市で、サラリーマンが多く、いわばベツドタウン的な消費都市として急伸しているところ。それだけに、休日ともなると家族そろってショッピングという光景が珍らしくありません。

こうした地域特性を考えて、加藤清丸社長が練った作戦は、スーパーへの出店でした。もちろんスーパーであればどこでもいいというわけではありません。お惣菜を買いにきたお客さんが、ついでにバイクも、というわけにはいかないからです。そこで同じスーパーでも、専門店の出店形式で百貨を扱い、日常の生鮮食品を扱っても評判のよい「忠実屋ショッピングフロア」さんを候補として話を持ち込んだのです。

この辺のねらいどころはまことに的を得たもので、忠実屋さんの福島一男店長も加藤社



展示商品はポビイ、チャピイ、RD50、メイトなど50ccを中心に、クッションバイク、モトバイクを配し、天井からはポビイ、チャピイの垂れ幕を掲げました。

初日の金曜日は、さすがにウィークデーだけに主婦の方が多く、契約成立までには至りませんでした。が、免許教室のこと、クレジットのことで、サービスについてなど、意外と多くの質問をうけました。そして二日目の土曜日、来店されるお客さまも多く、午後にはポビイが一台即売となりました。

長年の熱意あふれた説明をうけて快諾、三日間の出店がスムーズにまわりました。「地域社会に密着し、日常生活の向上に役立つ商品の提供がスーパールの使命、あらゆるお客さまに応えられるものとして、バイクの展示即売も必要でしょう」(福島店長談)というわけです。提供をうけた場所も、一階出入口のすぐ脇のコーナーときまり、金、土、日の三日間にわたって、加藤ヤマハトレールショップが店開きしたというわけです。

朝10時から夜7時まで、チラシの配布にお客さまの応待に、そして本店との連絡に忙がしかった三日間でしたが、今回の企画はテストケースとしても上々の成果を納めたわけですね。「幸い忠実屋さんのご理解があつて大きな成果を納めることが出来ました。これからも機会をみて、加藤ヤマハトレールショップの看板としても恒例の行事としていきたいですね。」マルさんでモトクロスに有名人を馳せた加藤清丸さん。みごとな作戦勝ちの新商法でした。



▲事前に新聞折込みのチラシでPRしたほか、来店のお客さまにも4000枚のチラシを配布。「これはウチのPRと思って……」と加藤社長。
▶「成果はいかがですか……」「おかげさまでどうやら……」「それはよかった、頑張ってください。」忠実屋大和店福島店長(左)と加藤社長。

事前のPRは新聞のチラシ折込み。このチラシにはおなじみ花のマークの忠実屋さんのマークも大きく入れてつくりました。

契約第一号はポビイ 三日間で7台を完売

新聞に折込んだチラシを勤務先で見、藤沢市から買物がてらに赤ちゃんを連れてきた若夫婦です。またこの日は免許をうけてからと、免許教室の申込みも多数ありました。明けて日曜日、チャピイ、ポビイ、RD50など六台が、そしてこの夏のボーナスという予約を八台もうけました。



加藤ヤマハトレールショップさんがPR用に使った2種類のチラシ。

▶一階入口のコーナーに設けられた展示場。3日間の使用料はⓈですが、予想外の低コストで提供をうけることができたとか。

◀即売第一号車「ポビイ50」。赤ちゃんはお父さんが預り、お母さんが説明をうけて、「お父さんがうるさくて……」と購入決定。バイクでニューライフのスタートでした。



道に悪路も全て揃って
「一」さんの練習コース。



▲ユーモアを混ぜた中野社長の教
え方はなかなか堂に入ったもの



◀「今度は合同で……」とはりきる秋山社長

バイクの乗り方教えます 練習コース付きでお客様さま増大

愛知県岡崎市・ヤマハオートセンター(杉浦育社長)
静岡県富士市・秋山モーターズ(秋山幸作社長)
静岡県富士市・ワタイオートシヨップ(渡井豊社長)
静岡県浜松市・中野輪業(中野文夫社長)

「オートバイク販売店は、安全とともにバイクを売らなくてはならない。それには、お客さまにバイクの安全な乗り方を教えることも必要だ」(ヤマハオートセンター・杉浦社長)というので、様々なかたちでバイクの乗り方を教え、それを販売促進の面でも大いに活用している販売店さんが増えています。

最近では「通勤にバイクを使いたいんだけどなにしろ練習する機会がなくて」という人、また「免許教室を受けて原付免許は取ったんだけど、バイクを買う前に乗り方をちゃんと教えてもらわないと、ちょっと不安ね」という女性のお客さまなども増えて、います。

こうした需要層を見のがさないためにも、乗り方講習はお店の発展には不可欠な活動になって来ています。乗り方を教えることは販売店さんにとって少なからぬ負担ともなりませんが、長い目で見た時、それは強力な販売促進の手段となるものと言えます。

買いたいバイクで即練習

お客さまとなれば練習代は返却

「ヤマハオートセンター」さんの広い敷地内にはクラシック、坂道、S字、パイロン、一本橋、

悪路などあらゆる走行条件を練習できる専用コースがあり、休日ともなると50人以上の人が練習に訪れます。練習車は50ccから750ccまで段階的に7台が用意されていますが、大型バイクは中、小型の免許を持った人でないと練習できない配慮もなされています。

「こういう場所があると、バイクを買いたい人が、買いたいバイクですぐに試乗できるメリットがあります。そして本当に自分に合ったバイクを選べるのがお客さんにも喜ばれています。ですから時には東京から来る人もいます」と杉浦社長はその効用を話しています。もう一つお客さまにアピールしているのは、バイクを買えばそれまでの練習代は全て返却するというシステムです。「確かにこのことだけ考えれば負担になりますが、この良さを知った人がどんどん新しいお客さんを連れて来てくれますし、大きな目で見れば相場のメリットはあります」(杉浦社長)

免許教室の前に

乗り方講習を実施して評判

一方、秋山モーターズさん、ワタイオートシヨップさん、中野輪業さんのお店では原付免許教室を積極的に進めると同時に、原付乗り方講習会も開催し、特に家庭の主婦を中心とした女性層に大好評を得ています。

秋山さんのお店では「春のヤマハまつり」のフェスタとして、展示会を兼ねた乗り方講習会を、かねてから懇意の「昭和自動車学校」で開き、60人以上の人が集まったとのこと。



オイル保管で固定客を倍增

●鈴木モーターズさん(東京都葛飾区)

昨年11月オープンしたばかりの「鈴木モーターズ」の鈴木光男さんは、まだ26才の若さ。開店するに当たって考えたことは「個性のあるバイク専門店として売って行こう」ということでした。

個性といっても、ただ店構えだけではなく販売の方法などの内容も含めて。とにかく新しい店なので、まずこの店を知ってもらうで、出来るだけ多くの人に来ってもらうことを考えました。そして固定客を一人でも多くしようとする……」

そこで考えたのが、スナックやバーではやっていたウイスキーボトルのキーボックス制度、これをヒントにオイル交換の時に残ったオイルの缶をお店で預かるシステムです。

「オートループオイルの他に、4サイクルオ



研究熱心なアイディアマンの渡井社長



一本橋もスラロームも、坂にある「ヤマハオートセンター」

「いや、あれ程来るとは正直の所思っていなかったんです。それで一層その必要性を感じまして、今度は「ワタイオートショップ」さんと合同でやろうという計画なんです。原付免許の出張試験場でもある「昭和自校」さんは気持ちよく乗り方講習会の会場としてコースを借してくれますので」と秋山社長。

渡井社長の話では、正しく安全な乗り方を教えることは、私たち販売店の義務だと思われ、扱販にも有力な武器になります」ということで、近くの駐車場で乗り方を教えています。ここでの特徴は免許教室の前に乗り方講習会を開くこと。「まずバイクとはこんな乗り物なんだと体験させることで、免許教室での勉強も能率が上がるし、合格率もアップする

わけです」とのこと。こうしたちよつとしたアイデアが販促活動には大切なようです。「うちの方は町から離れていて農家も多くバイクがなければ不便な所なので、特に女性には原付乗り方講習は効果的な販促活動です」と話すのは中野社長。こちらでも近くの駐車場を借りての月一回の定期的な開催。「免許に受かった人がいつも15人位来て、ほとんどの人がバイクを買ってくれます。コースは今も舗装してないので、近いうちに舗装でもしてもらって盛んなものになりたい」と中野社長も大はりきりです。

いずれにせよ、(馬には乗ってみよ)の例でバイクの魅力を知らしめているのがポイントで、確実にお客さまを増しているのです。

イル、ギャオイル、チェーンオイルもやっています。全部定価でやっていますが、ギャオイルをうちで入れ換えたりする時だけ手数料として二百円もらっています。缶が空になった時は自動的にうちで新しいものと取り換え、月末に請求書を送るシステムにしてます。お客さんにも便利だと喜ばれています」

このシステムを始めてまだ間もないのに、お店の入口の鴨居の上には、お客さんの名前が書かれたオイル缶がすでに三十個ちかく並んでいます。

「一人でも多くの人にうちの店になじんでもらおうとしてやった事ですが、成功していると思います。特にこれからもっと増える事が予想される女性のお客さんにとっては、こうしたきめ細かなサービスが必要だと思います」

大月レーシングチームに所属して、お客さまと一緒に自らもトライアルを楽しむ鈴木さん。これからも若さにものをいわせ、様々なアイデアをこらした販促活動で、新しいお店の発展を目指しているようでした。

特集*評判がいい、ヤマハ新型車 お客さまが語る、魅力のポイント

自他ともにヤマハ党をもって認めるベテランライダー。

やっと待望のヤマハを手にして、毎日が楽しくてしょうがない若者。

そして、初めてバイクを暮しの足にとり入れて、行動半径をグンとひろげた女性たち——。「GR50」から「GX750」まで、ことし1月から相ついで登場した、ヤマハ新型車は、人びとの生活に深くとけ込んで、バイクでニューライフの輪を着実に広げています。

そこで、全11車種、12名のヤマハニューバイクのお客さまにご登場いただき、ニューバイク魅力のポイントをうかがいました。お客さまの語るセールスポイント、お店でのセールストークのご参考にどうぞ——。

ヤマハポビィLB50Ⅲ・H



仕事を終え今日も「ポビィ50」で家路につく佐藤さん。「ポビィで通勤もずっさり楽になりました」

ありがたい25Wのヘッドランプ

佐藤辰雄さん(48才) 宮城県仙台市鉄砲町二〇三

私は何十年も国鉄に勤めてまして、終戦直後は木炭車の国鉄バスまで運転したことがあり、乗物にはまったくのシロートではないんです。また、十年前から通勤にはずつとバイクを使っていますが、そんな私から見てもヤマハのバイクは年々すばらしくよくなってきていますね。とくにこのポビィは最高です。

ポビィのよさを一番感じるのは夜です。仕事の都合で帰りが遅くなったり、また私は仕事の後に三味線を習いに行っているんですが、そんな時には「ポビィ」のライトの明るさ、エンジン音の静かさは本当に助かります。安全だし、近所にも気がねしないで済みますし。「ポビィ」の前は自動速心クラッチのメイトに乗っていたんですが、この「ポビィ」はギャレシオの配分がいいんでしょね、スタートから加速して通常走行に移るまで実にスムーズなんです。それにタイヤが小さいので取り回わしが楽だし通勤時間帯の混雑した所を走ることの多い私にとって、「ポビィ」のこのような運転のしやすさは全幅の信頼が置けるものです。

仙台市内は、一方通行路でも50ccバイクなら入って行けるので、私の同僚にもバイクで通っている者が多いんですがみんな私の「ポビィ」がとても気に入るようです。

アドミニス

クラッチのミートがいいから
私の乗り方教室でも、

みんなスイスイ

相沢育子さん(18才) 東京都大田区矢口二―二四

身長133cmと小柄な育子さんが、なんと剣道二段。「いつも何かスポーツをやっていたい」というスポーツごころを、もっかは「GR50」で出場するミニバイクレースや毎日の片道十五キロのバイク通学で満喫している。デザインを勉強中というだけに、さすがバイクのカラーリングやスタイルには評価も鋭い。

「GR50は、初めてのマイバイク。去年原付免許をとった時には、RD50か、GT50のどちらかに、と思ってたんです。最初はカワイクと思って、ミニトレに決めようかな、なんて時に、モーターショウでこの「GR50」を見て、「これだッ」と思ったわけ。ちょうど大きさがミニ級で性能はRDなみ、それにカフエーサースタイルが最高。ヤマハのバイクはセンスがあると思ってるから、50ccもヤマハ以外は目につかなかったの」

「実際に二二〇キロ走ってみて、大きさもスタイルも、もちろん性能も、私にピッタリだと思う。気に入っているから自慢したい所はいっぱいだけど、まず加速、出足がいいでしょ。それにハンドル幅が狭いので、混雑した都内もスイスイだし。いくら原付とはいえずさの時に追抜いたり、危険を避けることもある。こんな時最高ね。やっぱり性能のよさは安全につながると思うわ。」

クラスの子や女の子に、学校前の公園で私がバイクの乗り方教えてあげるの。GRはクラッチのつながりがいいので、エンストもしないで、みんなすぐ乗れるのです」

今回のミニバイクレースには、クラス中で応援にかけつけるという、学校でも人気者の育子さんという、「GR50」だ。



「この次は小型二輪免許をとって「GR80」に、そうしたら50ccはGT50に」と相沢さんは、ヤマハミニの大ファン。



坂川さんの「ポビィ80」は、通勤、通学、ツーリングと毎日タフに走りまわる。

「快適な走り」を「安全」と
「わずかな差額で」

坂川佐内さん(24才)東京都新宿区市ヶ谷本村町一

自衛隊員の坂川さんは、勤務終了後、夜学で政治学を学ぶ勉強家であるが、その夜学に通う「足」として購入したのが「ポビィ80」である。3年前、故郷の熊本で中型バイクに乗るため自動二輪免許を取得し、350ccに乗っていたが、東京へきてからはあまりの交通量の多さと、細かい道でもスイスイと抜けて通るためには小排気量車の方が都合がよかった。二輪免許を持ってなければ50ccバイクを選んだでしょうが、わずかな差額で80ccが買え、乗ることもできますので80ccにしました。車種の選定は迷うことなく、モノコックフレームのスタイルが斬新な「ポビィ」に決めました。出足はいいし、パワーは充分です。先日、同僚たちと一緒に山岳地帯をツーリングしたのですが、山道もなんのその、頼もしいかぎりでした。シートが長く、その時の気分で自分の好きなライディングポジションを選べるのもいいですね。わたくしはやや後方にすわるのが好きなので、発進の時、前輪が浮きぎみに感じることはありませんが、これも出足がよいためでしょう。小径タイヤの操縦性のわるさも感じませんし、コーナーリングも楽で、そうとう傾けても不安はありません。「ポビィ80」の性能は買う前に想像したとおり素晴らしい、と語る坂川さんですが、さらに「給油のわずらわしさも、一度満タンにすれば通常の走行では一週間は走れますし、燃費はまったく気になりません。それに、これはポビィに限った話

ではありませんが、80ccのため交通の流れに無理なくついていけますし、道路上でより安全性の高い位置を自在にキープできますので、安全な走行ができ、神経が疲れないということは大きなメリットです。50ccに比べ、たった3千円をプラスするだけで力強い走りや安全を買うことができたと思います。

ヤマハ GR80

ホント、手足のように扱える

重場 勉さん(25才)宮城県仙台市東七番丁一七〇

十六才で二輪の免許を取ってから二年間はバイクに夢中だったんですが、十八の時に四輪に乗り出してからほとんどバイクに乗らなかつたんです。この「GR80」はそんなボクに久々に乗る気を起こさせたバイクです。どこがいいって、やっぱりカフエレサースタイル、それになんといつても取り回しの



「もう少し走り込んだら「菅生」のミニバイクレースで思いきり走りたいたすネ」と重場さん。

自在性ですね。何年ぶりかバイクに乗ったボクですが、とにかくスイスイって感じて、まったく自分の手足のように動かせるんですよ。その点ではGR50も同様ですが、一メートル八〇センチ近いボクにとっては、ライディングポジションを自由にとれる「GR80」の方が魅力でした。

元来、モータースポーツが好きで去年からミニバイクレースをやっていたんです。こちらには「スポーティランド菅生」もありますので、2月頃、動機先の近所にある「佐々忠輪業」さんへ行ったら「ヤマハからこんなにいいバイクが出ましたよ」ってす

められたんです。試乗してビックリしました。とにかく抜群のスタートダッシュなんです。それに操安性が素晴らしいときてますから。これだ、と思いましたね、その時。

ヤマハスポーツ RD125

RD125なら、時間も通勤費も

らくらく浮いちゃう

古屋郁夫さん(22才)千葉市南生実五八五二

自宅から七キロ離れた職場への通勤の足として四月六日から「RD125」に乗り始めた古屋さん。彼にとっては6台目のバイクだ。「渋滞のひどい道路をバイクなら二〇分ほど、四輪車や自転車だと四〇分、バスや電車だと迂回するので一時間近くかかります。やはり通勤にはバイク以外考えられない、会社から支給される通勤手当もだいぶ浮いてしまう。ごきげんですね」

「数あるバイクの中でも、通勤の足を主体にたまの休日にはツーリングも楽しみたいという私には、やはり「RD125」が一番。価格や維持費などの経済的な面も申し分なし。逆に軽快なスタイリングはじつに若者向けですね」

「そして、何といってもRD125といえば吹きあがりのいいエンジンと文字通りスイスイという感じの軽快さ。これが渋滞のひどい道路では、すごく助かるんです。信号が青に変わって一せいに発進、なんて時にもたついていたらすごく危険でしょ。「RD125」の瞬発力、スムーズな発進は、そのまま安全につながるんです」

「若者の生活の足として、「ニューRD125」はフルに走りまわっている。



183cmという長身を「RD125」にびたりと納め、ニューバイクとの息も早くもバツチリの中屋さん。



ツーリングバッグ、リヤのサイドバッグ、そして背中のリュック、このスタイルで玉井さんは「RD250」とともに世界を巡る。

ヤマハスポーツRD250

2年間、世界一周の足に

私を選んだRD250

玉井洋造さん(26才)東京都杉並区今川一―三 小美野方

「このニュースがみなさまのお手許にとどく頃、私とこの「ニューRD250」は、広大なカナダの自然の中をのびのびと走りまわっていることでしょう。念願の公共造園つまり公園の設計の勉強のために二年がかりで世界一周して各国の公園を見てこよう、というのが目的でそのために、この「ニューRD250」を足として選んだのです」

「なぜ「RD250」を選んだかといえば、まず整備性の面で2サイクルを、そして重量や燃費などと性能面での見合いかから250cc級に、そしてトレールカスポーツがずい分まよったのですが、パーツの入手が楽なスポーツに、というわけです。もちろん2サイクル、ロードスポーツといえばRDでしよう。特にニューRDは燃料タンクが大きくなっているのも魅力。オイルコーション・ランプは、海外でのロングツーリングに、きつと絶大な効果が



「RD400」でモトクロス観戦にやってきた粉川さん。

あるでしょう、オイル切れの心配も半減できますから。出発前のテストランでも、あまりの乗り心地のよさに、日本の道路は、こんなによかったかナ? なんて首をかしげたものです。バイクの国外持出し手続きで行った事務所の女性にも「最近では海外に行く人のバイクは、ヤマハがずい分多いですね」といわれたほどで、バイクに対する信頼もより一層深まっています」

ヤマハスポーツRD400

去年から待ちに待ったバイク

粉川和博さん(18才)三重県松坂市山室町七八〇

二輪の免許を取ったのがちょうど一年前、それから小さいのから大きいものまでいろんな車種に乗ってましたが、バイクの一番の魅力である「ふき上がり」という点で2サイクルが好きなんです。特に去年の秋にRD250を友達から借りて乗ってから、今度買うのはRDシリーズの中から決めました。

そんな時に、オートバイ専門誌のモーターショー特集号で「RD400」のことを知ったんですが、うれしかったな、その時は。ちょっと気が早いかとは思ってましたが、すぐ販売店さんに予約したんです。

それから大分待たされましたけど「待てば海路のなんとかで、実物を手にした時は感激しました。タンクのデザインも更に良くなっていて、実際に乗ってみたい感じも申し分なしてました。特に感心したのは追い越し加速の良さ。とにかく走りに徹しているって感じて、それだけながら前後輪のデイスタブレ

キで安全性もいいし、エンジン部のラバーマウントのせいか、アイドリング時の振動もまったく気にならな

いですし。友達の中には四輪を買うとバイクを離れちゃう人もいますけどボクはとことんこの「RD400」で楽しむつもりです。

ヤマハファイアルTY175

扱いやすさは125なみ

工藤順三さん(18才)三鷹市深大寺三八二九第一スバル東

この春宮崎県延岡の工業高校を卒業し、東京の自動車会社に就職した工藤さん。高校時代もつばら愛用していたTY50を、発売間もない175に乗りかえて、いよいよ本格的にトライアル開始の態勢です。「宮崎ではTY50で、ちよい乗りからトライアル・ランそしてSLトライアル大会まで、トライアル車の持味を存分に楽しんでいました。バイクにも慣れ、もう少しパワーも……」と思ってTY125にしようかなと思っていた矢先に175が発売になって迷っていたのです。就職したら暇をみて、本格的にトライアルをやってみよう、と思っていたので東京するとすぐ二輪雑誌

などを知っていた大月ヤマハをたずね、大月レーシングに入会したんです。

さっそく早戸川で175に試乗させてもらったら、すごく扱いやすい、そこで即「TY175」に決めたんです。125クラスの扱いやす

さで、250なみのパワーとでもいうんですか、大きさも体格にぴったりだし、パワーも十分、ハンドリングがすごく素直だな、という感じですよ。あとはトレニングを積むだけ、「TY175」なら僕にも、かなり乗りこなせそう。16回のヤマハらくらくクレジットですから、月々一万円ちょっと。社会人一年生のスポーツ・レジャーとしてこんなに健全なことないんじゃないですか。ツーリングに使うなんてのもいいですよ。175なら高速道路も走れるし」



新しいバイクの新しい仲間、「TY175」の工藤さん(中央)のみを連れて練習にも熱が入る大月レーシングのみなさん。左から2人目が大月選手。



犬飼さん(右)、上島さん(左)のベテランライダーが、たしかな目で「XT500」を選んだ(古田商店さん前にて)。

ヤマハエンデュロXT500

「総合的なバランスに魅力を感じて」

犬飼 淳さん(23才)長野県松本市島内区四七八二

上島真司さん(19才)長野県松本市宮瀬三丁目七の三十五

犬飼さんと上島さんは、モトクロスを通じて知り合ったバイク仲間。これまで乗ったバイクが、二人合わせて13台、いずれもヤマハ車という根っからのヤマハ党でもある。

犬飼さん「今までDT250に乗っていたんですが大型車が欲しくなって、正直のところDT400とどっちにしようか迷ったんです。でも4サイクル単気筒とサスペンションのよさなど総合的なバランスに魅力を感じて、「XT500」に決めました」
上島さん「現在はトライアルをやっていますが、モトクロスの爽快感は捨てがたく、野性味あふれる「XT500」を選びました。悪路で高速を出してもバランスがいいので安心して乗り、振動が少なく中間加速が抜群なので疲れませんね」

犬飼さん「確かにラフでの足まわりはシッカリしています。低速が強く車重も軽いのので、扱いは250ccとほとんど変わらないですね」

上島さん「オフロードばかりでなく、通勤にも利用していますが、パカッ速いという感じがなくてスピードがでているのに、時として驚くことしばしば。本格的なトレール車でありながら、オンロードでも充分に通用的なマシンといえるでしょう」

ヤマハスポーツGX500

なんととっても

性能+スタイルですね

小松原正光さん(23才)東京都杉並区和泉四一八

バイク歴6年、16才でFS-1、その後2サイクル350ccと昨年の8月にはTY-80を購入、この2台を用途により使いわけていたが、「GX500」の発売と同時に3年以上乗っていた350ccを「GX500」に乗り替えた小松原さん。

「主にツーリングなど遠出する時に乗っていた350ccにかわるさらに大型のバイクがほしかったんです。腕には自信がありますが、身体が小さい方ですので、750ccより500ccが適当かと思っていました。「GX500」を選んだ理由は、個性的なスタイリングが気に入ったのと、他の500ccバイクにくらべコンパクトに設計されており、またがった時に大きさを感ぜません。とくにエンジン巾が狭く全体にスリムな感じでした。しかし、それだけで走ってみると、重量車のゆとりといったものを充分味わうことができるからです。」

以前から、仲間たちの間で、TX500は乗りやすいと評判でしたが、TX500の流れを汲む「GX500」の走行感は、それをおとなしくしたという感じで、低速から高速までたいへんスムーズです。D・OHCの良さですね。ブレーキも後輪までディスクになり、ロックしにくいようです。ライディングポジションも楽に設計されており、長旅しても疲れません。

ゴールデンウィークを利用して伊豆一周のツーリングを



デザイナーというお仕事柄、お気に入りの「GX500」のカフェレーサー・スタイルに合わせファッションにも気をつかう小松原さん。

先目、友人のバイクの後にそっと近づいて、急に脇から追い抜いたんですが、彼に言わせるとエンジン音が静かなのもっと小さなバイクがつかいてきたのかと思っていたとのこと。ワインディングロードの操安性も、これが750かと思うくらい軽くコーナリングできるし、全体的なデザインもまとまっているので満足しています」

したときなども、6時間ぶつづけて走ったこともありましたが、快適そのもの、なんともありませんでした。これから夏や秋のロングツーリングが今から楽しみですね。

ヤマハスポーツGX750

「シャフト・ドライブだから安心感絶大です」

小松茂治さん(21才)長野県大町市光明町一 光荘12



16歳の誕生日を迎えるや原付免許を取得、その二年後には自動二輪免許を取得した小松さんは、それ以後TX750の愛用者としてバイクライフを楽しんできた。「GX750」は、発表と同時に予約を行ない長野県下で第一号車を手に入れたオーナーとして有名。

「DOHC、三気筒、シャフトドライブ……と、ひと言いでいってしまえばそれまでですが、実際に乗ってみると三気筒エンジンのバランスの良さには驚かされました。仕事が忙しくてまだ150kmしか乗っていないんですが、ローで吹かすず進んでいるし、二千五百〜三千回転でいい吹きをしているので今後が楽しみです。過去にツーリングの途中でチェーンを切ったことがあるんですが、その点、「GX750」のシャフトドライブ機構は安心して、オイルはねもなくいつもきれいで、信頼できるマシンって感じがかな。

サンプル車として、アメリカに初めて届けられた5台の「GX750」を駆って、ロサンゼルスからデイトナまで、往復一万余キロを試乗テストしたレポートがアメリカのヤマハ、YIC（ヤマハインターナショナルコーポレーション）から届きました。お店のお客さまへの話題として、ぜひセールスブックにお役立てください。

真夏から真冬へ

一日平均六五〇キロ走行

初めて手にした「GX750」、それはわれわれYICのメンバーをその場に釘づけにするに十分な魅力をもったビッグマシンであった。DOHC・並列3気筒の黒いパワーユニット、フルダブル構成の見るからにがっかりとしたクレードルフレーム、そして期待の後輪シャフトドライブ。音も静かであるし、スタイルも上品だ。

われわれはこの魅力に富んだマシンの実力を試すべくデイトナへと向った。目的地をデイトナに選んだのは、これまで4連覇を記録している「デイトナ200哩レース」の5連覇達成を期しての応援も兼ねたからである。

試乗テストのスタッフは日米5人のライダーと四輪の伴走車を駆る2人の米人ドライバーである。この7人でまったくノーマル仕様5台の「GX750」をデイトナまで走らせ、帰ってこようというわけだ。

ロスアンゼルスからデイトナまで、往路はメキシコ湾沿いに、帰路は内陸部より走るコースが設定されたが、往路四千五〇〇余キロは7日間で走る。レース日程に合わせたいからだ。単純に計算して一日六五〇キロ平均の強行軍だ。アメリカでも、オイルショック以来フリーウェイにも制限速度が課せら



れ、だいたいカリフォルニア周辺では55〜65マイル（88〜105km）/時、西部地域では少し速く、60〜75マイル（97〜121km）/時となっているが、もちろん道はフリーウェイばかりではない。数百キロを一気に走れば、何十軒となくつづら折れ、アップダウンを繰り返したり、整備のよくない地方道も選ばれている。実際、帰路はデイトナから北上して一日で真夏から真冬へと逆転する気候の変化も体験した。雨にも会ったし、緊急避難のための急加速、急減速も何度か試させられた。けっして気楽なツアーではなかった。それはわれわれの日課を知らば納得されるだろう。

メインテナンスフリー

安心感絶大のシャフト駆動

われわれの仕事は朝7時から始まる。食事をすませて「GX750」のところに集まり

全員が分担して仕業点検につくのが朝7時なのである。それ以後は昼食とガソリン補給だけが休止のときで、あとは夕方6時までは走りつづける。裸で過せるデイトナから一日でマイナス4度の真冬の世界へもとびこんだりするのだ。まさにハードだ。

それでもなお、ライダーは誰ひとりとして伴走車に乗換えようという者はいなかった。今回の試乗テストにおける最大のトラブルはほかでもない。誰が伴走車に乗るか、それを決めるのが一番の悩みのタネであった。乗りなれてくるにつれ、安直には手放せない強烈な魅力がこの「GX750」にあったのだ。その一例を端的に示せば、セル一発で常きげんよくまわってくれるエンジンであり、ビッグマシンを意識させない軽快なハンドリング性能である。まったくの話、60〜75マイル/時のクルージングでは、120度クランク3気筒のバランスのよいこのエンジンは、殆んどモーターのように静かに回転してくれる。排気音もまったく耳につかない。コーナリング性能も非常に素直で、意のままにコントロールできる。そして特筆すべきはシャフトドライブである。

今回の試乗テストでは、一日に千キロを越える長丁場も珍らしくなかったが、駆動系にまったく気を使わずに走れたことはどんなに有難かったことか。チェーンドライブ車ではこうはいかない。とくにパワーの大きいビッグマシンでの高速ロングツアーでは燃料補給のためにチェーン調整、注油が当然の仕事となるが、シャフトドライブ車ではその面倒がいらない。こうしたメインテナンスフリーは「GX750」の大きなセールスポイントと

アメリカ横断二万km走行の試乗報告

ヤマハスポーツバイクGX750

なるはずだ。そしてもう一つ、デイトナまで四千五〇〇余キロを走破して5台の「GX750」はどれも新車然と輝いていた。もちろん洗車などしていない。後輪まわりはオイルはねひとつない。みごとなきれいさだった。前輪ダブル、後輪シングルのディスクブレーキの効き味も上出来だ。クラッチも軽く、クッションもよい。今回の試乗テストで誰もが「GX750」を手放さなかったのはこうしたトータルバランスのよさがあったからであらう。本当に疲れの少ないよい車だ。蛇足ながら全車ノン・トラブル。燃費は18km/ℓを維持した。また本誌4月号に報道されたように「デイトナ200哩」はヤマハの大勝利、そして大観衆を前にわれわれ5台の「GX750」がデモンストレーション走行をして発売前のPRを一段と効果的に行なったことを附記しておこう。



アメリカ大陸横断10400km。「GX750」は期待にたがわず素晴らしいライディングをわれわれに与えてくれた。



▶伴走車と並走する「GX750」。今回の試乗でわれわれは「GX750」の非凡な実力を知った。



▲フリーウェーを快調に走る試乗テストグループ。今回の走行で交換したもの、それはデイトナで交換したエンジンオイルのみだった。

◀ロスアンゼルスから4500km余を連続7日で走り、デイトナスピードウェイに到着した5台の「GX750」。アメリカ初お目見得だ。



▲ヤマハの新しい750……とアナウンスの紹介を受け、大観衆の視線を浴びて整然とデモンストレーション走行。PRには絶好だった。

◀「いつから発売だ?」「値段はいくらだ?」「これを売ってくれないか」など、デイトナのインフィールドでは「GX750」の前に人山ができるほどの人気だった。



チャビィグリーン



クリーンホワイト

新発売 ヤマハトール DT90

オフロードランの性能向上と振動、騒音の低減、安全性の向上を図って開発されたのがニュー『DT90』です。トルクインダクション方式のエンジンは●ピストン、コンロッドの重量を軽減●エヤクリナー室内形状を改良●グラスウール入りマフラーの採用のほか●冷却フィン間に新型アブソーバを装着するなど●振動、騒音の低減を図っています。またニュートラルタイプの●オイルレベルインジケータランプを採用、テールランプは●バッテリー点灯とするなど安全性も高めました。そのほか5段調節式のリヤクッションは●伸びと圧縮の往復でダンパーが効く新型を採用、同時にストロークも116mmに増大するなど性能を高め●ハンドルバーもモトクロス型とし、商品内容を大きく高めました。

バッテリー型式	6N4B-2A、6N4B-2A-3	変速比 4 速	24/22=1.090
発電機種類	フライホイールマグネト	変速比 5 速	22/23=0.956
発電機型式	F000T01774、F0T01774	フレーム型式	高張力鋼管ダブルクレードル
発電機メーカー	三菱電機	キャスト	58°30'、59°30'
点火プラグ	B-8ES(NGK)	トレール	138、130mm
キャブレター	VM24SS、VM22SS	タイヤ寸法(前)	2.75-21、2.75-19-4PR
エヤクリナー	湿式モルトプレーン	タイヤ寸法(後)	3.25-18、3.00-18-4PR
一次減速(比)	ギヤ(74/19=3.894)	ブレーキ(前後)	機械式ドラム
二次減速(比)	チェーン(45/16=2.812)、(45/14=3.214)	懸架緩衝装置(前)	テレスコピックオレオ
クラッチ型式	湿式多板	懸架緩衝装置(後)	スイングアームオレオ
変速機型式	5 段リターン式	ヘッドランプ	6V25/25W
変速比 1 速	35/11=3.181	テール/ストップランプ	6V/5.3W
変速比 2 速	30/15=2.000	フラッシャーランプ	6V17W
変速比 3 速	26/19=1.368	各種パイロットランプ	6V3W



コンペティションイエロー

新発売 ヤマハトール DT125

ニュー『DT125』のもっとも大きなセールスポイントは●前輪に2.75-21の大型車輪を採用し●前後クッションのストロークを増大(160mm/120mm)、とくにリヤクッションは●圧縮側にもダンパーを追加してオフロードにおける●踏破性と乗り心地性能を高めたことです。これに関連して5段変速機の●ギヤレシオを変更(1-2速をワイド、3-5速をクロス)●ハンドルバーをモトクロス型とし、前後輪とも●ビードストッパー付としています。エンジン関係では●ピストン、コンロッドの重量を軽減●新型アブソーバを装着してフィン鳴りを防止●エヤクリーナー、マフラーを改良して吸気音、排気音の低減を図りました。また●オイルレベルインジケータランプを採用●尾灯は直流点灯として安全性を高めています。



チャビィレッド

ヤマハトールDT125、DT90主要諸元

全長	2050、1970mm
全巾	860mm
全高	1090、1070mm
シート高	805、795mm
軸間距離	1345、1290mm
最低地上高	255、240mm
重量	100、93kg
燃費(定地走行テスト値)	50、60km/ℓ(50km/h)
登坂能力	30°、27°

最小回転半径	2200、2000mm
制動停止距離(50km/h、30km/h)	15、8.5m
エンジン	2サイクル・トルクインダクション
気筒数・排気量	単気筒・123、単気筒・89cc
内径×行程	56×50、50×45.6mm
圧縮比	6.7:1、6.9:1
最高出力	13/8000、10PS/8000rpm
最大トルク	1.2/6000、0.95kg-m/7000rpm
始動方式	プライマリキック
点火方式	フライホイールマグネト
燃料タンク容量	7ℓ
オイルタンク容量	1.2ℓ
潤滑方式	分離給油(ヤマハオートループ)
バッテリー容量	6V4AH

オレンジの香りと陽光の光
カリフォルニア(アメリカ)



◀霧にかすむサンフランシスコのゴールデンゲート・ブリッジ(金門橋)。

▼女性ライダーも多く見かけるモーターサイクル・パーク。



▶最も男性的なスポーツとして圧倒的な人気を誇るアメリカン・フットボールは、チビツ子の間でも盛ん。
▲ビルの合間をクモの巣のごとくはりめぐらせたフリーウェイ。

一九七六年——それはアメリカがイギリスから独立して二百年目を迎える記念すべき年でもあります。

「西へ西へ」という合言葉とともに、馬にまたがり、幌馬車に揺られながら、山を越え川を渡り、延々と広がる砂漠を横切つて続けられた新天地の開拓の旅は、とうとう太平洋につきあたり幕を閉じました。たくましいフロンティア・スピリットを持った開拓者たちは、長旅の疲れも忘れ、すぐさまこの新世界の発展のために、泥まみれになりながら働き続けたのです。

「ウエスト・コースト」あるいは「パシフィック・コースト」と呼ばれる西部は、このよ

うにアメリカ人のフロンティア・スピリットと共に、発展を遂げてきたところとして知られ、ワイルド・ウエストの香りを残す大西部の豊かな自然を背景に、明るく開放的な風土をつくっています。なかでも最南端に位置するカリフォルニアは、めつたに雨の降らない温暖な気候に恵まれ、オレンジ、レモン、グレープなど果実類を中心とした農業はもちろん工業、貿易、観光のめざましい発展により「黄金の国」(Golden State)の異名を冠せられるほどに成長を遂げました。

アメリカの著名なジャーナリスト、ジョン・ガンサーは「カリフォルニアは狂っているところと正気と、また子供らしいところと大人らしいところを同時に持っている、観察の角度によって変わる」(「アメリカの内幕」と語っています)が、カリフォルニアはその言葉どおり、あらゆる問題を抱え込んだ国(州)として、さらに今後もあらゆる問題が起こりうる国(州)として存在しているといえます。

ベトナム反戦運動やブラック・パンサー、ヒッピーなどの若者文化を創り上げたこの地は、またトップレスやボトムレス・パニーの発祥地としても有名で、政治をはじめ社会、文化面において新しい潮流を生み出し、全米に対して絶大な影響力を誇っているのです。

さんさんと降り注ぐ陽光は人びとを開放させるためか、騒々しく熱につかれたようにい

ろんなことをやっているカリフォルニア人気質の喧嘩さはただ驚くばかりで、西へ西へと辺境を求めてきたアメリカ人が太平洋にぶつかったどんづまりの地で、もう行き場がなくなったため人びとは落ち着かないなどと、俗説が冗談を込めて語られるほどにスケールの大きいものです。

全米のなかでも、カリフォルニアはとりわけバイクに対する関心が高く、数多くのモーターサイクル・パークが設置されていますが、ロスアンゼルス以南約40km離れた郊外にはアメリカのヤマハ(Yamaha)があり、アメリカ市場への窓口となって活躍を続けています。

(写真提供・オリオンプレス)

“救護法”をマスターしよう

菅生で開催「救護士講習会」



「どんなに設備の整った病院に運んでも死んだ人は生きかえらない」と語る岡村先生

交通事故は起こさないのが、また起こらないようにすることが第一に大切であることはいまでもありませんが、万一事故が発生したときの負傷者の応急処置については、現在のところ残念ながら医師をはじめとする特定の人間を除いては、十分な知識を備えている人は数えるほどです。

交通事故による負傷者に対しては、現在の道交法第七十二条においても「車両等の交通事故による人の死傷または物の損壊があったときは、当該車両等の運転者その他の乗務員は直ちに車両等の運転を停止して、負傷者を救護し、道路における危険を防止する等必要な措置を講じなければならない……。」と規定されており、何らかの救いの手を提供する義務が示されているように、運転者自身が事故負傷者に対しての最初の救護者とならなければなりません。しかしながらわが国ではかなり以前から、ケガや急病で非常にその症状が重いつきは絶対安静ということが強く印象づけられており、下手に動かしては、ことに素人がやってはかえって悪い状態を招く恐れがあるとの考えが相当強く浸透しているというのが実情です。現在の交通事故死者のうち、少なくとも10%、最大では30%の人達が初期の救護のまずさ、誤った救護の方法によって、死ななくてもよいのに死亡しているといわれていますが、交通事故被害者への正しい救護法のマスターは、運転者一人ひとりにとっても緊要な課題として提起されているといえます。

ヤマハでは、安全運転推進活動の一環として、交通事故の正しい救急知識を身につけた救護士の養成を行なっていますが、去る四月十二、十三日にはスポーツランド菅生において、ヤマハ発動機(株)仙台支店の主催により、東北地区救護士講習会を開催しました。

すでに救護士講習会は、ヤマハ本社において本年二月、運転業務にたずさわる社員を対象に開かれています。今回の講習会は東北地区のヤマハ社員および菅生の施設関係者を中心に行なわれたもので、講師には前回同様わが国救急医学の第一人者・岡村正明医学博士(元東京消防庁急部長)があたり、交通事故の救護法を中心に、軽傷から命にかかわる重傷者に至る応急処置の講習が行なわれました。



止血はキズロの手当よりも、手や足に行く動脈の本幹(手は脇の下のつけ根、足は股の内側のつけ根)を外から指や手で圧迫する。

(写真上)
死亡の第一原因は呼吸困難。頭を後にそらせアゴを下げ、横向きにして口の中の血液や吐物を取り除く(気道の確保)ことが先決。
(写真下)
意識がなく呼吸も止まっている時は人工呼吸が必要。4〜5秒に一回の割合で、空気を口移しに直接相手の肺に吹き込むマウス・ツウ・マウス法が覚えやすい。



屋外での実習風景

脈がない場合は心臓マッサージ。一般に左にあるといわれている心臓だが、正しくは胸の中心に位置しているのに要注意。

チャピイ・ユーザー層の拡大は 女性層の開拓が決め手

世界一のバイク生産を誇る静岡県は、さすがにバイクの需要率は高く、街中至るところでバイクに出会う。県下でもとくに女性ユーザーの多い静岡市内の大型店を担当している氏は、柔らかな物腰ながらも強い意志を感じさせるベテランだ。営業に移る以前には技術畑を経験しているだけに、豊富な知識を生かしたセールストークはお店の信頼を集め、原付免許教室や乗り方講習会の積極的な開催で大きな成果を収めている。今回は、とくに女性層の開拓にマトを絞り、チャピイ・ユーザーの拡大の決め手について語ってもらった。

「日本自動車工業会の調査によると、バイクを購入したユーザーのうち50ccは年齢別、職業別に幅広く分布しており、ユーザーの拡散化現象が見られますが、なかでも女性ユーザーが前回の8%から19%へと増加している点は、とくに注目したいですね。

私どもの静岡県下でも、原付バイクにおける女性層の進出はこのところ目立っており、その傾向は原付免許教室や乗り方講習会の参加状況にも著しく現われています。

今年の二月から、とくに女性層の開拓を狙った原付免許教室と乗り方講習会の開催を積極的に推進しているんですが、受講者の八割

までが女性で占められ、しかも二十代から四十代の家庭の主婦が多いんです。

職業を持つ女性が増え、女性の社会参加による意識の向上が大きな要因となっているんですが、最近の女性の自立心は驚くばかりつよくなっているのです、実際の生活に役立ちずらば何でも吸収してしまうんですね。

原付バイクの場合、経済的にはクレジットがあるのでそれほど負担はかからないし、ファッション的にもチャピイのようにハイセンスなバイクがあるので、便利さを感じさせれば女性への普及もさらに広まるでしょう。

ただひとつ、これが一番大きな問題ですが、バイクに対する抵抗感というか、運転操作に対する不安だけは私達の努力で取り除いていかなければいけません。「私にも運転できる！」という安心感を植えつける作業は、女性層の開拓、とくにチャピイユーザーの拡大にとっては前提条件なのです。

私の受持っている販売店の皆さまは、原付免許教室を開催する前に乗り方講習を行なっていますが、まずはバイクに触れさせて親しませた上で、試験の勉強をさせたほうがより効果が得られるからなんです。実際、バイクに興味を持っていても、免許をとるのが面倒だとか、乗るのが怖いと思っている女性は多いので、とにかく乗り方講習の段階で「バイクは安全」「操作はラク」「乗って楽しい」と



●永田 清〔ヤマハ静岡株〕

昭和23年7月生まれ、27歳。静岡県引佐郡出身。昭和42年にヤマハ発動機㈱に入社、営業技術課にてサービスを担当。以後、名古屋支店、豊橋営業所を経て、昭和44年に現在のヤマハ静岡に籍を置く。サービス業務もさることながら、持ち前の営業センスを認められ、昭和45年より営業部へ転属し、営業マンとしてスタートを切る。現在、営業担当主任。



「受験者の合格率は?」「チャビイの購入率は?」と免許教室後の販売状況を把握する永田主任。

感じさせることは大切です。現在、乗り方講習会は、お店の脇の空地や近くの河原などを利用してチャビイのオートマチックで行なっていますが、とくに女性の場合は楽しい雰囲気作りに気を配り、できるだけ個人指導でバイクに親しませているんです。なかには二店が協力し合い、休日の自動車教習所を借り切って定期的な開催を続けているところもあります。二人の指導員でも十五名で受講者を締め切り、内容の充実化を図っています。

合同免許教室の開催は各地で成果を上げていますが、私どもの地域では販売店の皆さまが率先して、それぞれ市場に合わせたユニークな講習を行ない拉販に努めていますので、今後もお店独自の講習会を大切にしていきたいと思っています。お店のご主人自らが、指導員として講習にあたることは、お客さまとの結びつきを深めるだけでなく、お店の信頼をより高めることになるからです。

より確実にバイクを販売するためには、免許教室開催後のアフターフォローが決め手になります。教室終了後のアンケートやDMハガキはもちろんですが、こちらでは免許教室で使うテキストを無料配付するかわりに、免許を取得した時点で返していただくシステムを取り、お客さまの動向を把握しています。汚れたテキストは、かえって「このテキストで何人もの人が免許を取っている」という印象を与え、ヤル気を起こさせるものです。

すでに実施されているヤマハ・ハビイバイクセールでは、とくに免許教室で「奥様紹介プラン」によるチャビイ・ユーザーの開拓をめざしていますが、今後は免許教室を通じて知り合った女性ユーザーの親睦クラブ「二輪車安全友の会」の組織化を図るなど、バイクに対する正しい認識を広めていきたいと思っています。

感じさせることは大切です。現在、乗り方講習会は、お店の脇の空地や近くの河原などを利用してチャビイのオートマチックで行なっていますが、とくに女性の場合は楽しい雰囲気作りに気を配り、できるだけ個人指導でバイクに親しませているんです。なかには二店が協力し合い、休日の自動車教習所を借り切って定期的な開催を続けているところもあります。二人の指導員でも十五名で受講者を締め切り、内容の充実化を図っています。

安全とおしゃれとアイデアのフルライン

俺と愛車とバギー革製品
—NOWなライダーズファッション—



- 主要商品
- 革製ウェア類
 - 革製手袋
 - 革製ブーツ
 - その他革製品



飛ばないチェーンオイル

PJチェーンオイルは、最も経験あるアメリカで研究・開発されたスプレー式の飛ばないチェーンオイルです。

- 特長
- ①PJチェーンオイルは強力なウエスラットとして粒子も非常に細かくチェーンの最も大切な部分、ピンチェーンリンク、プッシュアップ等細部まで速やかに浸透します。
 - ②PJチェーンオイルはグリースの長所とオイルの長所をかねて入れたもので、サイクルファンの常備品として欠かせません。

ヤマハ用品

ライダーの安全と、バイクの性能、耐久性を一段と高める「ヤマハ用品」。セフティ、ハイパフォーマンス、ファッションブルを柱に、厳しい規格に適合した製品ばかりです。バイクライフを一段と高めるヤマハの安全思想を、貴店でもお取扱ください。

ヤマハ発動機株式会社

ヤマハパーツセンター

〒438 静岡県静岡市西員東3400 TEL.05383(2)1111



武田フサ子さん

(武田輪業・武田昭三氏夫人)

発展をまねてみる 奥さまのデータづくり



昭和27年 ご結婚。ご主人の昭三さんの父親が群馬県山田郡大間々町で自転車販売店を経営。

昭和28年 父親、没。ご夫妻で店を継ぐ。昭三さんは販売店経営のかたわら、競輪選手としても活躍。ご長男幸男さん誕生。

昭和31年 昭三さん、バイク・自転車販売業に専念するため選手生活にピリオド。桐生市への行商を開始。

昭和34年 群馬県桐生市に移る。宮前町に間口10間の店を開店。(現在の宮前支店)

昭和46年 桐生市三吉町に新店舗開店。

(鉄骨3階建、売場面積180坪、本店)

これは武田さんご夫妻の発展の略歴です。20数年前、父親が残した小さなお店で、わずか120戸の部落の人々を相手の細々としたご商売から出発したご夫妻でしたが、いまでは桐生市内に立派なお店を2店舗構え、バイク400台、自転車800台以上の年間売上台数を誇る大型店に成長したのです。こうした発展をみるには、独自の商哲学を持ち、卓越した経営手腕によって奥さまをリードされてこられたご主人の「力」もさることながら、陰になり陽になりにしてご主人を支えてこられた奥さま、フサ子さんの貢献があつたことも見のがせません。「うちでもし何かの機会に従業員を表彰するようなことがあれば、功労賞はまづ先に女房にあげなければなりません」と語るご主人の言葉が、これを何よりも物語っています。

「わたくし自身の話より、主人の経営や夫婦の役割についての考え方をお話しした方が参考になるんじゃないかしら。わたくしは主人の方針にそつて、主婦として、また商店の奥さんとして当然のことをしているだけですから」と謙そんされるフサ子さんですが、実はたいへん重要な仕事を、結婚以来ずつとつづけていらるのです。

「主人は、店での主人と奥さんの役割は明確にしなければいけない」とよくいいます。『販売店の夫婦はバイクの両輪で、夫は力強い原動力を発揮する後輪の役目をしっかり果たし、妻はその力に口すが生じないよう、また無謀に走らないよう、方向性を与える前輪の役目をするのが理想なんだ』といいます。そして『経営者は数字に強くなければならず、そう

した店は必ず伸びる』というのが持論です。この数字とはつまりデータのこと、主人は経営の指針、販売目標の設定をすべてデータに基づいて行ないます。しかし、原動力として毎日忙しい主人はデータの整理までとてできませんので、データをまとめ、主人の参考にしてもらうのがわたくしの主な仕事になるわけです。

奥さまに過去10数年にわたる貴重な資料を見せていただきました。

まず、『月別のメーカー・車種別売上台帳』、これには売上台数、売上金額はもちろん、現金販売と割賦販売の割合、前月比、前年同月比、平均マージンなど、ご主人の販売計画の参考となるありとあらゆる項目が立てられており、各項にきれいな文字と数字がびっしり書きこまれていま



(写真右)

現金出納を主な仕事に、営業時間中はめったに店を離れない、というフサ子さん。それだけにお客さまについては誰よりも知っている。

(写真中)

広いお店での奥さんの受け持ち範囲は、主にこの接客カウンターの周辺、データづくりに必要な書類は、いつも整然と整理されている。

(写真左)

お店発展の原動力として、バイタリティあふれる営業活動をするご主人の昭三さんは、經理の監査役でもある。

武田輪業さんのある桐生市は昔から絹織物の産地として有名です。また、女性が働くことが美德として受け継がれてきた町です。それだけに働く主婦の数は多く、購売力もつた婦人層のバイク需要も多いとのこと。こうした好市場を背景に、どんな販促プランでもすぐ実施に移すことができる豊富なデータを備えた武田輪業さんでは、いま実施されている「ハビイバイクセール」にも一早く対応し、代替需要期にあるお客さまへのDM作戦をはじめ、新規需要層の開拓にも意欲的に取り組んでおられます。

「もうひとつ、女房の仕事で、うちの財産ともいうべきものを見ていただく下さい」
かたわらにこられたご主人がこう言つて案内してくれたところは、立派な大金庫の前でした。うちの金庫にはお金が入つてませんよ」といつて開けてくれたその中には、約4千名分のユーザー管理カードが年度別にきちんと納められています。
「昭和38年からつと女房が書き込んできたものです。市内の4千名のお客さまを固定化できたのは、このカードのお陰です」

す。また、別の台帳には、一日毎に販売されたバイクや自転車の車番別に、その仕入価格、販売価格、販売条件、マージン、売掛金の回収具合、客の格付、新規需要力代替需要かなどが一目でわかるよう、一覽表となつてとじ込まれています。お店では、現金出納を主に、接客から店頭セールスまで、普通の販売店の奥さまと変わりなく働き、その上にこうした仕事をされている奥さまは相当の努力家のようです。

この夏、青い浜名湖で
しぶきに躍る。

ヤマハ水上スキー教室

販売店・特約店の皆さま、
お気軽にご参加
ください。

《ヤマハ水上スキー教室のご案内》

今年の夏は美しい浜名湖を軽快に滑ってみませんか？ ヤマハインストラクターがマンツーマンでご指導いたします。水着のご準備だけでどなたでも受講できます。

開催日時

7月/17(土)・18(日)・24(土)・25(日)・26(月)・30(金)・31(土)

8月/1(日)～23(月)まで毎日 AM10:00～PM4:00

開催場所

ヤマハマリーナ浜名湖(浜名湖松見が浦)

受講料

1日コース 9,000円 1泊1日コース 13,000円 1泊2日コース 20,000円
詳しいお問い合わせ・お申し込みは

●ヤマハマリーナ浜名湖

静岡県湖西市入出字長者1380 TEL 05357(8)0711

★お申し込みはご予約が必要です。お早めにお願ひします。

★お申し込み時に10%の予約金をいただきます。

★最寄駅(東海道線鷺津駅より送迎車が出ております。期間中毎日運行AM9:00発)

ヤマハマリーナ浜名湖



「バイクって

こんなにカンタン」

キャンペーンでも人気のヤマハ50

今年で7回を迎えた'76日本キャンピング&野外スポーツショウが、4月23日から3日間東京の明治神宮外苑・絵画館前広場で開かれました。

オートキャンピングやバックパッキング、オリエンテーリングなどアウト・ドア・スポーツが若者たちの間で急速にブームを呼んでいるだけに、色とりどりのテントやスポーツ用品、キャンピングカーがずらりとならぶ会場は、連日若者や家族ついで大盛況。

中でもヤマハ発動機・東京支店が設定したヤマハコーナーは、ボート、ヨットからカー、用品部品そしてチャビイ、ポビイ、GR、GTの50ccバイクまでオールヤマハを展示、さらにレジャーバイク試乗会も開催して、ひととき大きな人気を呼んでいました。

特に試乗会は、アンケート用紙に記入して試乗を待つ人の列が、いつまでもつづいてい

NEWS * TOPICS
ニュースピックス



☎05383-2-1111 内線355
 こちらヤマハ発動機PR課です

お電話でも、おハガキでも、お気軽に、楽しい話題、明るいニュース、これとは思う情報をお知らせください。本誌へのご要望、ご質問、ご相談もうけたまわります。原稿・写真のご投稿も大歓迎。宛先は〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社営業部PR課までどうぞ。ニュースの内容によっては編集部員が取材におうかがいいたします。〔写真は絶好のバイクシーズンを迎えて、生産も急ピッチの本社工場。4月初旬撮影〕



ましたが、休日を利用して訪れた中年のご家族づれや、女性の姿が特に多く、「バイクってこんなにカンタンなの」とか「あら、クレジットもあるの」といった声をあげて、「ニューライフの足にぜひバイクを」という思いをよめていたものです。

大盛況!!

「ミスヘルメットコンテスト」

長野県飯田市で開催

女性層へのバイクの普及とともに、女性ユーザーのヘルメット着用も広まっていますが、交通安全週間中の去る4月11日(日)に長野県飯田市の飯伊交通安全協会をはじめ飯田警察署、軽自動車協会など七団体の主催により、「ミス・ヘルメットコンテスト」が賑やかに開催されました。

市内のメインストリート・知久町通りの歩行者天国で開かれたコンテストには、チャビイやメイトに乗り込んだ31人の女性ユーザーが参加し、乗り方から交通安全の認識度まで幅広い審査が行なわれ、500人以上もの見



物客を前にして準ミス2名を含む3名のミスヘルメットが選出されました。

この日は、コンテストの他にも交通少年団のバレードや飲酒運転追放の街頭署名などが行なわれ、安全運転推進活動の官民一体となったチームワークぶりが感じられました。

全日本モトクロス選手権第4戦菅生大会

見せ場をつくる杉尾

またも大逆転の優勝

S125

昨年とほぼ同様のスケジュールで全国各地を転戦している76全日本モトクロス選手権シリーズの第4戦は4月25日、第3戦の山口大会からいきなり東北に飛び、スポーツランド菅生の菅生ハイランドで行われた。

昨年と同じく、この日も絶好の日和に恵まれ、特に前日に降った雨のおかげでホコリの立たないコースは、コンディションも上々。ノービスを除いたジュニアからセニアまでの総エントリーが約350台、観客も約5000人を数え、加えて特にセニアのレース内容が充実しており、活気に満ちたモトクロスデーであった。

第3戦の250ccで竹沢正治（カワサキ）に逆転勝ちした杉尾良文は、この日の125ccでも、今度は鈴木秀明（ホンダ）を相手に大逆転劇を演じ、大観衆にモトクロスの醍醐味を堪能させた。

例によって杉尾は瀬尾勝彦とともに後方からのスタート。秀明は1周目から早くもトップ、これに内藤勝司（スズキ）、星野正博（ヤマハ）らが続き、鈴木都良夫は中位グループ。しかしトラオ、杉尾、瀬尾のヤマハトリオは1周毎に上位に進出し、レース中盤には早くもトップを走る秀明を射程距離内にとらえた。しばらくはこの4者の首位争いが続いたが、瀬尾とトラオは次第に離され、優勝争いは杉尾と秀明に絞られた。会場は両者の猛烈なデッドヒートに沸いたが、接戦に自信を持つ杉尾は落ち着いたレース運びで秀明にせり勝った。2位はトラオ、3位は瀬尾。



250ccでトラオは惜しくも勝利をのがした。トラオは終盤、終始トップに立っていた福本敏夫（カワサキ）をとらえ、誰れの目にも「これで勝負あった」かに見えた。しかしトラオはあと一周を残す所で転倒、1位福本、2位竹沢の3位に終わった。

全日本モトクロス選手権第5戦鈴鹿大会

光安、着実に

3勝目を上げる

EJ125

第4戦が昨年と同じく好天に恵まれれば、第5戦の鈴鹿も昨年同様、雨にたたられてレ

ちょっと一言

正しい乗車姿勢を

オートバイを上手にコントロールして乗る上で一番要求されるのが、バランスをうまく保つということです。人とオートバイが別々な動きをするのではなく、一体感を持って運転されることにより、バランスがうまく保たれ、より一層の安全運転も約束されるというものです。

バランスを保つということで思い出されるのは、体操競技の平均台です。体操の選手が平均台の練習をするときは、まず正しい姿勢でまっすぐに平均台の上を歩くことから始まります。正しい姿勢がバランスを保持する上の基本条件だからです。オートバイを安全に運転する時にも正しい乗車姿勢が不可欠なものとなります。

わるい姿勢でロングツーリングなどをすると、肩が凝ったり、背筋が痛んだりして余計な疲労が体の各部に起こってきます。このことは混雑した電車内で、長時間不自然な姿勢をとられた後のあの不愉快な疲労と同様のものです。オートバイの運転の場合は、単に不愉快ではありません、安全運転にも支障を来すともにもなりません。

野球のコーチが一番苦労するのは、打者や投手のわるいフォームを直すことだと言われます。一度体で覚えてしまったわるいクセはなかなか直しにくいものです。

オートバイの乗車姿勢も、わるいフォームが固ってからは直すのが大変です。これから運転を覚えようとする人には、特に初めから正しい乗車姿勢を身につけ、オートバイと一体になって走る味を覚えてもらうように指導したいものです。

ースケジュールに大幅な変更を余儀なくされた。

5月4日に125ccクラス、5日に250ccクラスの予選と決勝がそれぞれ行われる予定だった第5戦は、3日までに降り続いた雨でコースコンディションは最悪となり、4日の午後遅くによりやくジュニアとノービスの90cc、125ccだけが行われ、その他のすべては5日に行われた。

5日は曇空ながら雨は完全に上がり、路面のぬかるみも回復し、まずまずのコンディションで各レースが行われた。

11時30分にスタートしたEJ125ccクラスで、光安鉄美はYZ125で楽勝、3勝目を上げた。1周目、8位で帰って来た光安はその後1周ごとに上位に進出し、5周目にはそれまでトップをキープしていた白戸寛（カワサキ）を軽くかわして首位に立った。その後は14週のレースを危げなくリードした。光安は250ccではチームメイトの末永初弘と3位争いを演じたが、今一歩及ばず4位に終わった。

セニア勢は残念ながら、125ccを地元の藤秀信（ホンダ）、250ccを渡辺明（スズキ）に優勝を取られ、125ccで鈴木都良夫が2位、杉尾良文が3位、250ccで瀬尾勝彦が3位に入ったにとどまった。



根本 健、

TZ350で大健闘

4月17、18日の両日、関東では今年初の全日本選手権ロードレース大会が、絶好のコンディションのもと、茨城県・筑波サーキットで行なわれた。

ノービス、ジュニアでは依然としてヤマハ市販レーサーTA、TZの若者の活躍がつづいたあと、注目のエキスパート250/350/750ccレースがスタート。カワサキファクトリーの清原明彦、スズキファクトリーの岩崎勝、そしてTZ350を駆るプライベート・エキスパート勢の争いとなったこのレースは、やはり750



モノクロス・サス装備のニューTZ350でビックマシン2車を猛追する根本健。

という大排気量にものをいわせて清原が一周目から独走、日本初登場のスズキ500・4気筒がつづいた。しかし、この両ファクトリー勢を執ように追い上げ観衆の声援を一身に浴びたのはTZ350の根本健。岩崎を上まわるラップタイムをマークしながらの追上げも、スタートの出遅れがたたり三秒という僅差で、おしくも三位、しかしエキスパート350ccクラスにみごと一勝目を上げた。

全日本選手権第3戦・鈴鹿ロードレース大会

河崎・TZ750改、

さつきの鈴鹿を独走

ゴールデン・ウィークもたけなわの5月1、2日、シリーズ第3戦は約二カ月ぶりに鈴鹿サーキットに戻って行なわれた。今シーズン初めてトップ・エキスパート勢のエントリーが多数伝えられ、前人氣も大いにもり上がった。しかし、いざフタを開けてみると不参加が相つぎ、つめかけたファンを落胆させた。

こんな中で気落ちした観衆の興味をかりたて大いに気をはいたのが、TZ750改に乗る河崎裕之(ブレイメイトRT)をはじめモノクロス・サスのTZ350IIの毛利良一、糟野雅治らのヤマハ勢である。

エキスパート250/350/750混合レースの決勝では、河崎がスタートで出遅れたものの二周目で早くも先行する毛利をとらえ、以後は周回を重ねることに2分22秒台というハイペースで2位以下との差をひろげ、51秒という大差で17周を快走、余裕の総合優勝を果した。2位は安定したベースで終始この位置をキープした毛利が入り、350ccクラス優勝、3位糟野(3502位)、4位上野真一(350cc3位)とヤマハ勢の上位独占がつづいた。

また、エキスパートとジュニア混合の125ccレースではヤマハTA125の山本篤美(チームヤンガス)がジュニアながらエキスパートを押えて序盤のリードを奪い2分41秒3というこのクラスのラップ記録を樹立して注目を集めた。



今シーズン初登場ながら安定した速さをいかに発揮して総合優勝の河崎裕之。

小学校でミニバイク運動会

ヤマハ島根(株)では、単にユーザーへのサービスだけでなく、一般市民に対するヤマハブランドの普及と、バイクに対する興味の増大を図るため、二輪車協会、交通安全協会の後援を得て、ミニバイクの運動会を実施しました。こうした狙いから会場を、松江市内の公立小学校の校庭としましたが、当日は50名をこえるレース参加者がバイクの楽しさを満喫する一方、200名以上の市民がこれを見物するといった賑いを見せ、この目的を達することに成功しました。



はりきる東北の

トライアル仲間

(スポーツランド菅生)春の遅い東北もいまは初夏へ向けて、一年を通じて最もさわやかな時。特に大自然に囲まれた「スポーツランド菅生」では、美しい新緑の中で地元のパイク仲間たちが、各種のモータースポーツで気持ちの良い汗を流しています。

写真で紹介しているのは、4月18日に行われたSSCC(菅生チャレンジカップ)トライアルの第1戦。集まった数十人のトライアル仲間は恵まれた環境の中で大はりきりでした。



人気のヤマハミニGR50/80に 豊富なオプション部品、用品登場

登場以来急速な勢いでお客さまを増やし、人気を呼んでいるヤマハミニGR50/80にごらんのように豊富なオプション部品、用品がそろいました。いずれもGRの持つ若さにあふれるフレッシュな感覚を、さらに強調する個性的なものばかり。人気のGRを、さらに売りやすくします。お店の売上げアップにぜひどうぞ



セミカウリング

近日発売

GRのカフェレーサースタイルを一層ひきたてるセミカウリング。雨の季節には威力も大きく、安全にもつながります。

クロームメッキ製 フロント・フェンダー

価格2,200円



●バックミラー
価格 540円

●バックミラー
価格 540円

●エンジンガード 価格2,200円

●ウインドシールド

しゃれた布製カバー付でGT、MRにも取付可能。価格4,500円

●サイドボックス 近日発売

●サブキャリア 価格1,350円

GR用 特製ナップザック

価格1,900円



丈夫な布製、赤と青の地にシルバーメタリックのGR50がプリントされ、ザックとして背負うのはもちろん、手さげバッグとしても使用できる重宝なものです。

GRワークブーツ

価格9,800円



若者に人気のワークブーツ。皮製で底は特にガン丈なつくりとし、足首の部分の動きをスムーズにする工夫が施されています。

GR用手袋

価格3,500円



白と黒のコントラストがいかにも若々しい皮製手袋。特に夜光仕上げで、安全性の高いものです。

ヤマハ・ジェット型ヘルメットCS500に ニューカラー・シルバー追加



手軽なかぶりやすさが定評のヤマハ・ジェット型ヘルメットCS500にニューカラー「シルバー」が加わりました。これでこのタイプは、従来の白、黄、オレンジ、グリーンとシルバーの5カラーお客さまの好みや、バイクのカラーに合わせ、より広くお選びいただけます。

価格6,500円



ショッピングに最適 ファッション・バスケット

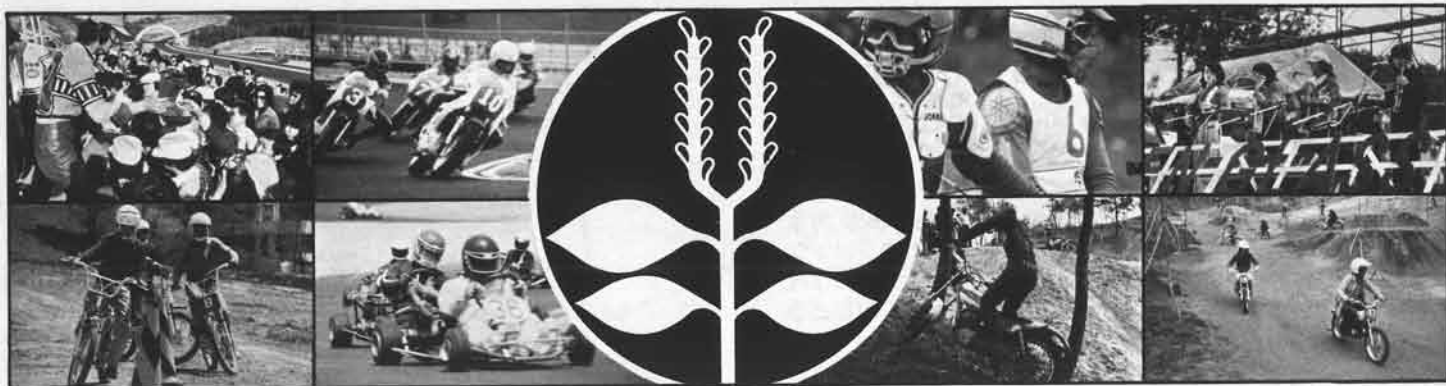
ポビィ、チャビィ、メイト用のおしゃれなファッション・バスケット。カラーもメッキ、白、黒、青、赤、緑と豊富、ファッション・レバーとペアでおすすめてください。

価格900円

ファッションレバー

左がクラッチレバー、ブレーキレバーがセットになったポビィ、チャビィ用。右がメイト用のブレーキレバー。いずれも赤、黒、緑、黄のカラフルなビニールコーティングで価格はポビィ、チャビィ用が850円、メイト用300円。なお、GR、TY、MR、GRそしてYBシリーズ用もそろっています。





モータースポーツフェスティバル 菅生

8月1日(日) 開催決まる

この夏休み最大のイベント

お客さまのサービスにご利用ください

■会場 スポーツランド菅生
 ■企画 スポーツランド菅生

前夜祭 7月31日(土)

- ロック フェスティバル
- オーディオ コンサート

モータースポーツイベント 8月1日(日)

- '76ロードレース日本選手権・第5戦北日本大会
- 第2回SLモトクロス全国大会
- SLトライアルイベント
- SLカートフェスティバル
- ハッピーバイクパーク
- その他

モータースポーツイベントのエントリーに関するお問合せは、下記のヤマハ普及本部へどうぞ。

- ヤマハ発動機株式会社 普及本部
〒438 静岡県磐田市新貝2500 ☎(05382) 2-1111
- 北海道ヤマハ株式会社 普及本部
〒063 札幌市西区24軒1条7丁目35 ☎(011)641-2711
- ヤマハ発動機株式会社仙台支店 普及本部
〒983 仙台市日の出町3丁目8番36号 ☎(0222)94-6121
- ヤマハ発動機株式会社東京支店 普及本部
〒104 東京都中央区銀座8の9の13 (銀座オリエントビル)
☎(03)572-2021

- ヤマハ発動機株式会社名古屋支店 普及本部
〒462 名古屋市北区辻本通2丁目34 ☎(052)913-2121
- ヤマハ発動機株式会社大阪支店 普及本部
〒550 大阪市西区北堀江通4の27 ☎(06)538-7331
- ヤマハ発動機株式会社四国支店 普及本部
〒760 高松市松島町3丁目22の4 ☎(0878)31-1661
- ヤマハ発動機株式会社九州支店 普及本部
〒812 福岡市博多区博多駅中央街8番36号(博多ビル7階)
☎(092)411-3606

●ボビィ、チャピィが茶の間に登場

ヤマハ提供、話題のテレビ番組

CX系
全国ネット

プロ野球 ナイター中継

(木、金、午後7:30~午後8:54)

「木曜ナイター」「金曜ナイター」は注目の巨人戦を中継します。「木曜ナイター」のない週はスターの意外な生活を知らせる「スターどっきり④報告」で登場。



土曜劇場 嫁はいいん

(土、午後9時~午後9時54分)

桜島大根の演げ物屋・十文字屋を舞台にくりひろげられる「のれんホームドラマ」。で、主演の竹脇無我ほか和泉雅子、竹下景子の共演。物語はいよいよ佳境に入ります。



アラビアンナイト シンドバッドの冒険

(水、午後7時~7時30分)

夢とロマンと冒険の変幻きわまりないファンタジーを主人公シンドバッドの12才の少年に設定してつづる世界の名作をアニメーションでおくる楽しい娯楽番組。



ご商売にすぐに役立つ新しい販売促進ツールのご案内

ご商売のしやすい時期こそ、お店の業績を大きく伸ばすチャンスです。新しい販売促進ツールもいろいろと用意されました。テレビコマーシャルをはじめとするマスPRの効果と合わせ、ぜひ有効にお役立てください。



Happy New Life on a Bike



免許教室や正しい乗り方講習会、安全点検、大売り出しなど、各種の催事告知の刷込みスペースを大きくとった宣伝チラシ。裏面にはヤマハフルラインをシリーズに分けて紹介してあります。店頭配布のほか新聞折込み用などに重宝です(B4判)



GX750からポビィまで、フルラインアップをおさめた総合ポスター(B全判)。

モーターサイクルの美学。はじめてのバイクにも、EXCITE-3WAYのクオリティ。
GX750

「GX750」のメカニカルな美しさをスーパーリアリズムのタッチで表現した絵画ポスター(A全判)。

綴込用総合カタログの新型車版です。お手もとの総合カタログファイルに追加してください(A4判)。



年初から次々と登場した新型車を基準に、新しく編集された各車種カタログ。最下段はヤマハフルラインの総合カタログ(A4判)。

うれしい、
グツン、グツン、
のびのびサイクル。

げんきなボクは グツンバイク。

ヤマハ・グツン
バイク20。前後のしやり
んにグツン(ばね)がついて、
どんな道でもらくらくはし
れる。げんきなきみたちのじてん
しやがうまれた。

6 ヤマハが
とくべつにつくった
ラッパ式ホーン。

5 ハンドルは にぎり
のところまで オート
バイそっくりだ。

7 ながくて
すわりやすい
バナナサドル。

8 リヤバック。
きみの大切なものを
入れておこう。

4 ふと
太さ4.4
センチもあるタイ
ヤ。よこの文字が
かつこいい。

4 ふと
太さ4.4
センチもあるタイ
ヤ。よこの文字が
かつこいい。

2 うしろの
しやりんも
グツンつき。
のりごこちは
さいこうだ。

3 ブレーキは
きょうりよく
強力な
ドラムブレーキ。

1 オートバイのように
グツン(ばね)の
ついたしやりん。
じゃりみちや、
でこぼこみちでも、
らくちん、らくちん。

お父さま
お母さまへ

お子さまに、うれし
い自転車が出来
ました。前後の車輪
にグツンがついた、全く新しいタイプの
5才~9才用ミニサイクルです。ロードホール
ディングのよい1 $\frac{3}{4}$ インチ(4.4センチ)の
太いタイヤとあいて、なめらかに、しか

も安全に走れます。さらに、制動効果では
定評の強力ドラムブレーキ。頑丈なチェーン
ケースとブリッジ付ハンドル。ソフトなドロ
ヨケなど、すべて安全設計。ヤマハ・グツン
バイク20。お子さまに安心してお与え
いただけるサイクルです。

●市販の補助車も簡単に取り付けられます。

YAMAHA グツンバイク*20

CUSHION BIKE *20

手続き簡単、お支払いらくらくのヤマハらくらくクレジットをご利用ください。

標準現金価格：¥29,800
ヤマハ発動機株式会社

